

戦評用紙

大会名	令和元年度 第30回山形県高等学校バスケットボール選手権大会
-----	--------------------------------

日時	2019年10月27日 14:00 ~	区分	(一財)山形県バスケットボール協会
----	---------------------	----	-------------------

チームA				チームB
羽黒				日大山形
93	21	1Q	22	64
	25	2Q	9	
	24	3Q	21	
	23	4Q	12	
		延長		

【戦評】

白:羽黒高校(#1, 2, 3, 7, 25)、赤:日本大学山形高校(#1, 4, 5, 6, 8)、ともにマンツーマンで始まる。試合は#6のシュートで日大が先制。羽黒もその後すぐに#2のドライブからフリースローを獲得。序盤は両チームともに各プレイヤーが得点し合う早い展開に。日大は#8がポストプレーや3Pシュートにより中からも外からも得点を奪う。さらに日大は#5の鋭いドライブでバスケットカウント。すると羽黒も#2が持ち前のスピードを生かしたドライブで、こちらもバスケットカウント。両者全く譲らない形で22-21の日大リードで第1Q終了。

第2Qは両チームともゾーンディフェンスから始まる。互いにインサイドを固めるも、羽黒は#1のミドルジャンパーや3Pシュートなどで着実に得点を重ねる。外からのシュートがよく決まり、羽黒は点差を10点に広げて、日大はすかさずタイムアウト。しかしその後も抒情に点差を広げ46-31の羽黒リードで第2Q終了。

第3Qには羽黒#3の速攻からの3Pシュートも炸裂し、さらに点差を広げていく。中盤に日大の外角からのシュートが決まりだし、流れを掴みかけたが、中々羽黒の速攻を止めることができない。

第4Qには日大が果敢にインサイドにドライブを仕掛け追いつこうとするが、運動量が落ちない羽黒がその後も攻めつづけ勝利を掴んだ。互いにパッション溢れるよい試合となり、最終スコア93-64で幕を閉じた。

戦評者

佐藤 俊喜